



ふしぎえほん.ai



ふたりの22ねん

あらずじ^{ごじゅうだい}50代の夫婦であるしゅうりん^{ふうふ}とた
かこ^{けっこんにじゅうにしゅうねん}が、結婚22周年を迎えるまでの日々を^{むかえる}
振り返りながら、新たな日々への期待を^{ひび}
語り合います。過去の思い出や日常の^{ふりかえり}
些細な幸せが詰まった、心温まる物語です^{あらた} ^{ひび} ^{きたい}
^{かたりあい} ^{かこ} ^{おもいで} ^{にちじょう}
^{ささいな} ^{しあわせ} ^{つまっ} ^{こころあたたまる} ^{ものがたり}



リビングの窓からは、春のあたたかなひざしが差し込んでいます。しゅうりんは眼鏡を直しながら、「たかこさん、きょうは22ねんめのけっこんきねんびだよ」と話しかけます。

たかこは、にっこりとほほえんで「もうそんなになるのね。なんだかあっというまだったわ」と答えます。



ふたり 一緒に しゃしん
二人は一緒に写真アルバムを
とりだし おもいで
取り出し、これまでの思い出を
こども
たどりはじめました。子どもの
ふたり であっ
ころの二人、出会ったころの
ふたり けっこんしき しゃしん
二人、そして結婚式の写真...。



『あのころは、わかくて、なん
でもできるっておもってたね』
しゅうりんの^{こえ}声には、ちょっぴ
りのおかしみと、たくさんのな
つかしさがありました。



たかこは、りょうりをしていた
きょうのひるのことをおもいだ
します。『あのころは、たまご
をわるのもへただったのよね』



22ねんというときのなかで、うれしいこともたいへんなこともたくさんありました。でも、ふたりはいつもいっしょでした。



『これからのこと、どうする？
きき
』たかこが聞きます。しゅうり
すこし かんがえ
んは、少し考えてから、こう
こたえ
答えました。



『しあわせって、きっとふたり
でいることだおもうと思う。このさき
も、いっしょにすごそう』



たかこはそっと^{わらい}笑い、『この22
ねんだけじゃなく、これからも
よろしくね』と^{こたえ}答えました。



そして、ふたりの22ねんめは、
あたらしいひび
あたらしい日々へのきぼうとと
もに、ゆったりとすぎていくの
でした。



おわり